	_	
1		٠,
1	£i/, \	}
ı	1367	- 4

総務省届出済

農林水産省

市町村名:

都道府県名:

							基	本指	漂コー	ド						[1]	集落営農	その概要 しんしゅう			
通				都		直近の農	市	IΒ			農		農業				2 集落	落営農の糸	且織形態		
					支	林	林	林 町	市			ŧ		地		法人				非法人	
L				道	×	セ	村	町			客		域	1 継続等区分			会	注社			
	集落営農の名称	代表者氏名	住 所			ンサ	13	村			-		類		農事						
番				府		スの	⊐	_			I		型		農事 組合 法人	株式 会社	有限 会社	合名· 合 資 会 社	合同 会社	任意 組合	その他
					庁	市町	ı	ı	۴			٦					会 社	AII			
号				県		村コ	۲						I								
						 - -	٢	۲	(1)	(2)	(3)	(4)	ド	新規:『1』 継続:『2』 統合:『3』 分割:『4』			いずオ	≀かに『1』	を記入		
01																					
02																					
03																					
04																					
05																					
06																					
07																					
08																					
09																					
10																					

集落営農実態調査票(平成19年2月1日現在)

									〕集落営農		き)							
通	3 農業生産法人につ 4 農業生産法人化計画について いて			いて	5 特定農業 特定農業派 する	業団体又は 去人に該当 るか	6 当該集 落営農が存 在する農 集落は中山 間地域等直	7 規約・ 定款が整 備されてい る		8 :	集落営農の	9 農用地利用改善団体について						
し番	農業生産法人に該当する	農業生産 法人には 該当しない	農業生産法人化計画を策定している	農業生産 法人化 予定年	農業生産法人側はません。	農業生産産計であるがある。	特 定 農業団体	特 定 農業法人	接金対象地では 技対象地では は は は は は は は は は は は は は は は は は は		集 落 営 農 が 関 わ る 農業集落数	当農が集存在集落を存在集落の数	うち、 記者 が農 る数	集落を営農かる数	うち、 認者 が農 る数	当 設 集 存 業 を き さ め 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	当該集落営 農が存在す る農業集 内 に な い	今後、設立する予定がある
号	いずれかに	『1』を記入	該当は『1』	年を和暦 で記入	該当は『1』	該当は『1』	該当すれば に『1』	 ば、いずれか を記入	該当すれば 『1』を記入	該当すれば 『1』を記入	集落	戸	戸	戸	戸	いずれかに	□ 1 』を記入	該当すれば 『1』を記入
01																		
02																		
03																		
04																		
05																		
06																		
07																		
08																		
09																		
10																		

集落営農実態調査票 (平成19年2月1日現在)

								〔2〕集落	喜営農の営農	状況								
通	1 経営規模・農地利用の目標											2 集落営農の活動内容 (複数回答可)						
					現況集	積面積			目標集	積面積		農業機械を	と共同所有		初中曲米			
	当該集落営農 が存在落内の 農業集落内 総耕地面積	うち、田	うち、普通 畑(牧草専 用地、樹園 地を除く。)	経営耕地 面 積	うち、 当該集落営農 が存在する 農業集落内の 面 積		うち、 当該集落営農 が存在する 農業集落内の 面 積	経営耕地 面 積	うち、 当該集落営農 が存在する 農業集落内の 面 積	農作業受託 面 積	うち、 当該集落営農 が存在する 農業集落内の 面 積	参加する 農家で共同 利 用	オ ペ レ ー ター組織が 利 用	集落内の 営 農 を 一括管理 ・運 営	認定農業生に積集と変換を変換を変換を表して、またのからで、は、またのが、でののでは、では、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのではでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、ま	農家の出役により、業(農 で農作業(機械を利用した農作業以外)を実施施	作付地の 団地化な ど、集落 内の土地 利用調整	
ק	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha				に『1』を記 <i>フ</i>			
01																		
02																		
03																		
04																		
05																		
06																		
07																		
08																		
09																		
10																		

集落営農実態調査票 (平成19年2月1日現在)

通	3 集落営農に	おける主たる従	事者について		4 収支の-	-元経理の状	況について	5 品目横断的経営安定対策への加入状況					
L		主たる従事者標序	1人当たりの目 所得										
番	主 た る 従事者数	目標所得金額	市町村基本構 想で定める目 標所得以上で ある	農業機械の 利用・管理に 係る収支	オペレーターなどの賃金等に係る 収 支	資材の購入 に係る収支	生産物の出 荷・販売に 係 る 収 支	農業共済に 係る収支	加入している	何年産に 加入したか	加入して いない	今後加入す る予定があ る	
号	Д	万円	該当すれば 『1』を記入	行っていれば	<u> </u> 『1』、予定し ^っ	<u> </u> ていれば『2』、	予定もなけれ	ば『3』を記入	該当は『1』	年を和暦 で記入	該当は『1』	該当は『1』	
01													
02													
03													
04													
05													
06													
07													
08													
09													
10													